



第1467回例会 2017年6月6日(火) 12:30 開会点鐘 番伊にて

ロータリーソング「奉仕の理想」 「ロータリアンの行動規範」 唱和

新会員卓話 佐味一郎 会員

◎6月度のお祝い発表

〈会員誕生日〉

1日 戸田一明さん  
12日 松井 聡さん

〈ご夫人誕生日〉

5日 山本尚美 さん  
29日 茶谷陽子 さん  
30日 永江直美 さん

〈結婚記念日〉

1日 杉藤隆志・智恵 ご夫妻  
3日 奥井道太郎・佐和 ご夫妻  
12日 間蔵信行・町子 ご夫妻  
15日 姥浦敏明・寿美江 ご夫妻

おめでとうございます!!

第1466回例会(5/30)報告

進行：中越 SAA

◎開会点鐘

◎会長挨拶 戸田 会長

ゲストを紹介します。国際ソロプチミスト能登 会長 田中美智子様です。そして、石川第3分区ガバナ一補佐 桂撤男様です。よろしくお願ひします。

さて、28日のソロプチミスト主催のチャリティーゴルフに当クラブからもたくさんの出席をいただきましてありがとうございます。私と寺田幹事は能都RC創立50周年記念式典に出席しました。記念講演がありましたので、少しその話をしたいと思います。講師は七尾特別支援学校珠洲分校教頭の坂口桂穂さんで「身障者スポーツから学んだこと」という演題での講演でした。当クラブも毎年本校の文化祭に協力をさせていただいておりますので、興味深く聞かせていただきました。

た。珠洲分校を今年の3月で卒業した川上春菜さんが5月、タイ・バンコクで開かれた国際知的障がい者スポーツ連盟(INAS)の大会で日本代表として、女子400mリレーのアンカーとして銀メダルを獲得し、2020年パラリンピック東京大会の選手候補として注目されるようになった話でしたが、彼女の凄いところは、重度の知的障がいにも拘わらず代表候補になっているところでした。パラリンピックはご存じのように身体的障がいや知的障がいなどの区分によって競技種目等も変わっていますが、これまでは重度の知的障がい者(IQ30以下)が選ばれた例がなく大変期待されているそうです。現在、世界には障がい者といわれる人が10%~15%(7億~10億人)いるそうですが、上から目線ではなくすべての人が同じ目線で解り合えるようになることを期待しているし、来る2020年東京オリンピック・パラリンピックのレガシーが、「共生社会」になることを願っているとのことでした。

本日もたくさんの出席ありがとうございます。

◎幹事報告 寺田 幹事

- ・市民のねがい花いっぱいコンクール募集(要項回覧)
- ・今年度ニコニコBOXへの投稿のお願い
- ・中島RC第10回市民健康公開講座案内(回覧)  
5/25(日)10時~12時 中島地区コミュニティセンターにて
- ・米山奨学生ハリー君小論文コンテスト入賞  
(P3に金沢大学国際学類ホームページ記事を記載)

月	日	曜	プログラム	週報担当
6	6	火	新会員卓話 佐味一郎 会員	山田
6	13	火	新会員卓話 杉藤隆志 会員・今井 徹 会員	中野
6	20	火	クラブ協議会「次年度事業計画案・予算案」	魚岸
6	27	火	2016-17(戸田会長)年度最終夜間例会(18:30)	今井富夫
7	4	火	2017-18(多田会長)年度初例会 (18:30 ゆけむりの宿美湾荘)	

会 長 戸田 一明  
副 会 長 森 仁志  
副 会 長 鳥畑 弘  
幹 事 寺田 彰  
広報ニューメンバーズ委員長 今井 富夫

創立1986年6月15日  
RI認証1986年6月26日  
【国内第1721】



◎桂 撤男 石川第3分区ガバナー補佐より挨拶



今年度大幅な改革があり、2つ気になる事があります。

①会員身分の柔軟性

これは以前、かなり厳しいチェックを受けて入会審査会を経て会員になっていました。1989年女性の会員が認められ、2001年シニアアクティブ、サービス会員が廃止され名誉会員と正会員の2種類になりました。また、今回の改正で誰でもロータリークラブに入れるようになり、一家の専業主婦で職業を持っていなくても会員になれるようになりました。今、会員の種類からいうと6種類ぐらいあり、年会費もバラバラに設定されています。

同じクラブで今までは公平な負担と平等な権利は基本であったのが守られるのか。職業を持たない人が入会すると、今までの職業分類はどうなるのか、課題がいくつか出てきます。

②例会

例会は定款67条では週1回、日と場所と時間を決めて開くこととなっています。そのうえで例会を減らしても変更してもよいとのこと。また、お互いに顔を合わせて開く会でなくともライン、ビデオチャットなので開いてもよいとの事です。これからのクラブ運営がうまくいくのか、この1年懸念を感じています。

2020年日本のロータリーが100周年を迎えます。東京で盛大なイベントが開かれます。今行っているクラブ運営柔軟性を検証し、これからの100年に向けての新しいビジョンを作るとの事です。

各クラブから、いろんな意見を徴収することになっています。ぜひとも、七尾みなとRCとして意見の具申をしていただければと思っております。

この1年補佐として努めさせていただきありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。

◎出席報告 浜田 出席小委員長

会員総数 49名(内、出席規定適用の免除者4名)出席者 34名  
 5/28 能都RC 創立50周年式典:戸田、寺田  
 5/23 東京後楽RC:所司 5/29 金沢東RC:所司

◎ニコニコ箱紹介 木村 ニコニコ箱管理小委員長  
 ガバナー補佐 桂撤男 様

一年間お付き合い頂き有難うございました。  
 戸田 ソロプチミスト会長田中様、卓話宜しく申し上げます。桂ガバナー補佐ご苦労様です。

桑原 ソロプチミスト能登会長田中様、七尾みなとRCへようこそ。先日は創立30周年チャリティー記念ゴルフコンペ参加させていただきありがとうございました。桂ガバナー補佐、3回目の訪問ありがとうございます。一年間振り返っての思いいろいろお聞かせ下さい。

佐味 田中会長様、桂ガバナー補佐ようこそみなとロータリーへ。

中越 桂ガバナー補佐ご苦労さまです。田中さん卓話ありがとうございます。

木下敬夫 田中会長様、本日はよろしく申し上げます。  
 姥浦昭二・森・姥浦敏明・久保・寺田・山本・井田・松井・三井・西野・魚岸・長

ソロプチミスト能登会長、田中美智子様。本日は有り難う御座います。桂撤男ガバナー補佐、1年間お世話様でした。

ゲスト田中様より、卓話謝礼をニコニコ箱にご寄附頂きました。

5/30日計.....33,000円.....累計1,209,650円.....

◎ゲスト卓話 『ソロプチミストの使命』

国際ソロプチミスト能登会長 田中美智子 さん

皆様こんにちは、国際ソロプチミスト能登2016年度会長の田中美智子と申します。

一昨日のチャリティーゴルフでは、七尾みなとRCさんにも沢山ご参加、ご協力いただきましてありがとうございました。無事今期の事業を終えることができホッとしています。

今回の収益金は奉仕先、支援先への寄付として大切にに使わせていただきます。

国際ソロプチミストとは職業を持つ女性達による世界的な奉仕組織です。ソロプチミストとは、“女性にとって最良のもと”と言う意味です。ソロ“姉妹”とオプティマ“最良”と言う2つのラテン語から作られたものです。

世界に130か国で8万人の会員がおり、女性として最大の奉仕組織です。1921年(大正15年)にカリフォルニア州オークランドで設立されました。日本では終戦後復興と共にソロプチミストの機運が高まり1960年東京に誕生しました。国際ソロプチミスト能登は1987年12月2日国際ソロプチミスト金沢のスポンサーのもと35名でスタートしました。初代の会長は神野錦子さんで、金沢出身で七尾の方で奉仕団体を作ってもらえないかとの事で、神野さんを発起人として会員を募りスタートした次第です。私が入会したのは1989年7月で入会式をこちらの番伊さんで行なっていただきました。初期の頃は私たちも若く、ほとんどの会員がゴルフをしていました。春にはチャリティーゴルフ、秋にはチャリティーコンサートやチャリティーバザーと事業をやり収益金もたくさんあったとの事です。



1990年代の中頃から経済基盤も揺らぎ、事業も減っていきました。35名いた会員も現在23名で、七尾市19名、羽咋市2名、中能登町1名、志賀町1名で構成されています。国際ソロプチミストは最盛期に10万人、高齢化の波などで減少していきました。最近では職業を持っていなくても会員になれ、人数も15名以下でも会を作れるようになりました。ただ会員数が少ないと奉仕活動、委員会構成が難しく成って来ます。能登も会員増強に向けて頑張っていますが、なかなか難しい状況です。現在88歳が最高齢ですが、会員を減らすことなく維持していくことも大切なのではと感じています。

継続事業では4月新入学児童に交通安全標語入り鉛筆をプレゼントさせていただいております。山王小学校、天神山小学校、小丸山小学校においては2005年にスポンサーさせていただいております。青山彩光苑では6月に誕生会で、みんなで歌を歌ったり、踊ったりしてお祝いしております。また、8月の夏祭りでは屋台のお手伝いをしています。12月には障害者週間イベントで入所者と家族の方と過ごすのにお昼のお手伝いをしています。

国際ソロプチミストは連盟が作る連合体で連盟は、4つの連盟に分かれています。日本は、北、東、中央、西、南の5リジョンに分かれ、それぞれが国際ソロプチミストアメリカ連盟に属しています。年に1回リジョン大会があり夢を生きる女性のための教育、訓練賞の授賞式もあります。家庭を経済的に支えながらキャリアアップを目指す女性、自立を目指す女性を応援する賞です。女性と女兒の奨学金や支援も受ける事なく困っている女性に賞を届けること

を使命としています。

では何故、女性と女兒に重きを置いているか？それは識字率を見ても、識字障害者8億人のうち3分の2が女性で、また女性と女兒は貧困、環境、教育問題、様々の問題で一番受けるのは影響を受けるからです。

教育こそが女性とその家族を貧困から救い出し経済的安定をもたらし中流階級へと導く決定的要因であると認識しています。45年にわたり夢を生きる女性のために教育訓練所を設け、夢を取り戻し、生活水準を高めるお手伝いをしてきました。女性たちの経済状態は改善し次の世代の女兒の家庭が改善し家族が自立、教育を得て経済的に安定し地域や国に貢献する、このような道筋を築いてきたと思っています。最後になりますが、この地域において、家庭を経済的に支え苦しい中にも夢を生きる女性がいたら教えていただき、連盟に推薦していきたいと思っております。以上拙い卓話ではございましたが、これからもよろしく願いいたします。

◎閉会点鐘

〔週報担当：西野〕

.....

**学類生が小論文コンテストで受賞！**

2017年5月15日




本学類国際社会コース3年のハリー セイザーさんが、野村総合研究所主催の小論文コンテスト2017「世界を変える、新たな挑戦」で留学生の部の特別審査員賞を受賞しました。受賞論文は「日本のイスラームとの関わりの再考」というタイトルです。

ハリーさんにインタビューをしました。

- 応募した理由は何ですか？  
日本語の論文の書き方を勉強したくて応募しました。
- このテーマにしたのはなぜですか？  
募集テーマが「日本や世界が抱える問題を解決するために挑戦したいことを、論文としてまとめる」というものだったので、イスラーム教の問題を選びました。自分自身はイスラーム教徒ではありませんが、周りにも困っている学生が多かったこともあり、身近な問題でした。国際学類の柏谷雄一教授の「ヨーロッパ(現代社会論)」という授業で、社会のマイノリティについて学んでいたため、日本におけるマイノリティであるイスラーム教徒について考えたいと思いました。
- 受賞した感想はどうですか？  
受賞できるとは思っていなかったので、驚きました。この論文が、すぐに卒論のテーマや進路に結びつかはわかりませんが、いろいろ調べて日本語で論文を書き上げたことで、自分でも成長を感じることができました。このことは、今後のステップになると思います。

次週予告

6月13日(火) 12:30開会点鐘 番伊

新会員卓話 杉藤隆志 会員 ・ 今井 徹 会員

今週の例会担当者： 辰田、中越、久保、長坂、大森 (6/6)

次週の例会担当者： 浜田、伊藤、徳永、中出、宮川、今井徹 (6/13)